

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	知覚・認知心理学		
担当者(Instructors)	丹藤 克也	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

知覚・認知心理学は「見る」「感じる」「考える」「行動する」といった人間活動の根幹をなす学問である。我々が五感から得た情報をどのように脳に伝達し、処理していくかを学ぶ。知覚・認知心理学では、先人達による多くの実験や理論が開発されてきている。それらを概観し、時には講義内で実践して取り組む。本講義では多くの知識を習得することになるが、それにより人間の仕組みや社会の仕組みの理解を深めることとなる。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式で行う。実験のデモンストレーションや映像資料を用いて体験的な学習を目指す。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	知覚・認知心理学とは	知覚とは何か、認知とは何かについて学習する。	<input type="checkbox"/>
第2回	視覚認知	視覚の機能や錯視について学習する。	<input type="checkbox"/>
第3回	注意	注意や集中の機能や測定方法について学習する。	<input type="checkbox"/>
第4回	記憶	記憶の理論や日常生活での機能について学習する。	<input type="checkbox"/>
第5回	学習	学習理論と条件付けについて学習する。	<input type="checkbox"/>
第6回	触覚1	触覚の機能について学習する。	<input type="checkbox"/>
第7回	触覚2	日常生活における多様な触覚の学習する。	<input type="checkbox"/>
第8回	言語理解	言語モデルや言語の役割について学習する。	<input type="checkbox"/>
第9回	問題解決と推論	問題解決や推論などの思考心理学について学習する。	<input type="checkbox"/>
第10回	認知と発達1 (進化と脳)	霊長類も含めた認知発達や脳の進化について学習する。	<input type="checkbox"/>
第11回	認知と発達2 (子どもの認知)	乳幼児期の認知発達について、発達段階ごとの相違点や環境の影響について学習する。	<input type="checkbox"/>
第12回	感情	感情理論や感情研究について学習する。	<input type="checkbox"/>
第13回	情報メディアと社会認識	メディア環境や情報認知理論について学習する。	<input type="checkbox"/>
第14回	社会的認知	社会的認知理論や原因帰属について学習する。	<input type="checkbox"/>
第15回	判断と意思決定	意思決定理論やバイアスについて学習する。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習：授業内で指示した専門用語の下調べをして授業に臨むこと。また、授業用サイトに掲載された関連文献のうち、自分が関心をもったものを入手し目を通すこと(2時間)。事後学習：前回の授業内容を復習しておくこと(2時間)。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の講義後にリアクションペーパーの提出を求め、理解度を確認する。次回の講義の冒頭でフィードバックを行う。

## ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
--------------	-------------------	-----------------

知識・技能	◇ 2019人間健康DP1	人間の認知活動（見る、聞く、理解する、覚える、考える、コミュニケーションするなど）について理解し説明できる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	人間の認知活動（見る、聞く、理解する、覚える、考える、コミュニケーションするなど）について理解し説明できる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%			60%	40%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
毎回の授業で提出を求めるリアクションペーパー（40％）。期末に実施する授業内テスト（60％）。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内容に応じて資料を配付する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	箱田裕司・都築誉史・川畑秀明・萩原滋（2010）認知心理学 有斐閣	
2		
3		
4		
5		